

7月1日からエントリー開始!!

月刊美術 PRESENTS 第5回

デビュー

美術新人賞
2017

に応募すべき 3 つの理由

今年で5回目を迎える本誌主催コンクール「美術新人賞デビュー」。

過去4回の受賞・入選作家からは、老舗画廊や百貨店での展覧会で活躍する若手が続々登場。

7月1日からのエントリー開始を前に、ここでは「デビューに応募すべき3つの理由」として、その特徴を紹介します。

昨年度のレセプションパーティーの様子。なごやかな雰囲気の中交流を深める。2次会では審査員にガッツリ質問できちゃいます。



【右上】2013年準グランプリ・若佐慎一 個展（西武池袋本店、2015年）
 【右中】2013年入選・平岡良 個展（いつき美術画廊、2015年）
 【右下】2013年奨励賞・山内大介 個展（渋谷東急本店、2015年）
 【左上】2014年グランプリ・財田翔悟 個展（ギャラリー広田美術、2016年）
 【左下】2014年準グランプリ・土井沙織 個展（ギャラリー和田、2015年）



3

なんといっても…… 受賞・入選作家のその後の活躍ゾクゾク！

「デビュー」は「銀座の企画画廊での個展開催」という実践的な副賞を設けていますが、それはなにより、プロ作家を目指す若手のための架け橋でありたいという願いからです。副賞の個展や入選作の展覧会には画

廊関係者が多く足を運び、その後に画廊や百貨店でのグループ展、個展などにつながることも多数。ここでご紹介するのは、そのなかのごく一部の方ですが、プロとして絶賛活躍中のホープばかりです。

第5回美術新人賞デビュー2017

コンクール応募期間：2016年7月1日(金)～10月20日(木)

入選作による展覧会

会期：2017年2月27日(月)～3月4日(土) (予定)
 会場協力：フジキ画廊／ギャラリー和田(ともに銀座)

ご応募、お待ちしております！！

1

現役のプロ作家と評論家が審査

作家が審査員のコンクールは数あれど、40～50代のいわゆる「現役バリバリ」のプロ作家が審査員を務めるコンクールは他にありません。第1回～3回は河嶋淳司(日本画家)、丸山勉(洋画家)、齋正機(日本画家)、ミヤケマイ(美術家)、第4回からは石黒賢一郎(洋画家)、國司華子(日本画家)、福井江太郎(日本画家)の各氏が審査。評論家の本江邦夫(審査員長：多摩美術大学教授)、立島恵(佐藤美術館学芸部長)の2氏には第1回から携わっていただいています。まさに「現役のプロ」の目線で審査するコンクール、それが「デビュー」です。



昨年度の最終審査の様子。左から石黒賢一郎、立島恵、本江邦夫、國司華子、福井江太郎の各氏。

2

誌面でのフォロー

雑誌主催のコンクールというのも特徴です。受賞・入選後も、誌面にて積極的にとり上げることで、継続的なサポートを実現しています。直近では6月号巻頭特集「子供を描いた絵」で、デビュー2016グランプリの野間祥子さんを紹介しましたが、誌面で作品を販売する「誌上頒布」企画などでも頻繁に取り上げています。雑誌主催であることで、受賞・入選後も丁寧なフォローができるというのも、他のコンクールにはない「デビュー」ならではの強みです。



【上】2016年6月号「子供を描いた絵」
 2016年グランプリ・野間祥子紹介ページ

【右】2014年8月号「この新人が、欲しい!」誌上販売「デビュー」受賞&入選作家ページ

